

社会福祉法人千歳市社会福祉協議会と財団法人千歳福祉サービス公社が

平成 25 年 4 月 1 日に統合します

統合に至る経過

在宅の高齢者や障がい者等の自立した生活を支援する福祉サービス提供機関として平成 7 年 2 月に設立された千歳福祉サービス公社は、その後の介護保険制度施行に伴い、介護保険事業の中核的な役割を担っていましたが、公益法人制度改革三法の施行により、法人のあり方を検討する中で、本年 4 月、千歳市社会福祉協議会に対し、公社との統合に関する検討を申し入れ、両法人と千歳市を含む三者の統合協議会を設置し、これまで 5 回にわたり協議してきました。

両法人は、市民福祉の増進等の共通した事業目的を有し、両法人の統合により、地域の見守りから福祉・介護・保健・医療等につなげる総合相談窓口が整備され、ニーズに対応したサービス提供までの一貫した体制が強化されるとともに、社協による介護保険事業の展開によりセーフティネット機能の強化、経営基盤の強化等が期待できることなどから、両法人は理事会及び評議員会の議決を経て統合に合意し、統合協定書を締結することとなりました。

統合協定調印式

平成 24 年 10 月 16 日（火）午後 1 時 30 分より千歳市社会福祉協議会事務所にて、千歳市社会福祉協議会と千歳福祉サービス公社との統合協定調印式が行われました。

調印式では、統合協定書に千歳市社会福祉協議会力示武文会長と千歳福祉サービス公社佐々木勝利理事長が署名、調印し、千歳市長 山口幸太郎 様が立会人として署名いたしました。



署名中の佐々木理事長



社協力示会長、山口市長、公社佐々木理事長